

将来のくらし【小鴨地区】を考える

※回収分(20人)

①地区の状況はどうか(■元気が・・・)

| 項目 | 理由 |
|--|--|
| とてもある | ・住民が多いから。 |
| | ・小鴨公民館は他地区よりイベントが多くあり、皆さんとの交流が盛んである。 |
| | ・人口や店が増えてきた。 |
| | ・子ども達も多く、若者の意見もある。 |
| | ・あいさつ、返事等大きな声ですることが出来る。 |
| | ・年配の方の活動が活発である。 |
| | ・PTAの活動等、人任せなところがある。 |
| ある | ・お年寄りの方も元気な方がたくさんおられるので、引っ張っていかけてくださる方達のおかげだと思います。 |
| | ・町区によって差異があるが、年配者が元気で大人も元気で、外から見ても元気に見える。 |
| | ・一部の方の元気はあるが、ついてこない人もいる。(公民館活動、児童館は活発) |
| | ・子供や若い保護者が多いし、高齢者が行事に参加する人が多く、大人が元気である。 |
| | ・小鴨公民館を中心として、各自治会でイベントを開催し参加者も多くある。 |
| | ・公民館活動が活発。PTAも協力的な面が多い。二極化はある。 |
| | ・児童数も多く、若い保護者も増えている。高齢者も元気で公民館活動が活発である。 |
| | ・地域活動がとても良い。 |
| | ・地域の活動に多くの方が参加している。大人も子どもも含めた活動が盛んである。子ども達を支援する土台が出来ている。 |
| | ・ボランティア、GT等子ども達のサポートをして頂けること。子どもが多ければ多いほどエネルギーがある。 |
| | ・明るく元気であるが、あいさつの時に元気がない。 |
| ・地域の方が協力的。教育にも進んで関わってくださる。人数の多さ→活かして盛り上げるべき。 | |
| ややない | ・学校と地域の交流が少しずつ行われているが・・・まだまだだと思う。 |
| ない | ・地区住民の集まる機会がない。 |

②学校の現状について(■児童が・・・)

| 項目 | 理由 |
|----------------------------|--|
| とても活発 | ・子どもが集まった時、大規模ならではの迫力・個性にあふれている。 |
| | ・多人数で良いが、あいさつが少ない。 |
| | ・小学校に行くと朝から運動場で元気な声があり、校舎内で大きなあいさつが返ってくる。 |
| | ・集団ということで元気が良い。 |
| | ・学年によるが縦の繋がりがとても強い。 |
| ある | ・体を動かすことが好きな児童が多い。たくさんの児童がいるので互いの関わりが多い。 |
| | ・休憩時間等で話しかけてくる児童が多いため。 |
| | ・子ども同士の関わりが多い。積極的に行動する姿。 |
| | ・活動に意欲的で明るく、元気の良い児童が多い。 |
| | ・2クラス編成にも慣れ、チーム意識も出来ている。 |
| | ・遊んだり、話したりは活発に行うが、あいさつの声小さかったり外に出ると遠慮してしまう子が多いように思う。 |
| | ・登校でも元気にあいさつをしてくれる。児童数も多く、学校が賑やかで楽しそう。家での子どもからのあいさつはどうか。 |
| ・私は保育園の保護者。園児もみんな元気いっぱいです。 | |
| ・行事など積極的に取り組む児童が多い | |
| ややおとなしい | ・通学路しか見ていないが、あいさつが出来ていない。大人の働きかけが必要。学校に入るとスイッチが入る。 |
| | ・朝のあいさつなど元気がない。 |
| おとなしい | ・なかなかあいさつが出来ない。問いかけても返事が返ってくるのが少ない。 |

③小学校適正配置について気がかりな点について

| 項目 | 理由 |
|--------------|---|
| 学力 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導する教員も適切に配置されなければ、一人一人に対する細かな指導が難しい。ここが解消されると多様な考えに触れより深い学びとなる。 ・多人数となり、先生の指導が行き届かないのでは。 ・計画・ビジョン等具体的でない場合は、学力は下がる。 |
| 人間関係 集団活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・集団の大型化による順応については、対応の出来る子と、そうでない子に分かれ、対応出来ない子のケアを考える必要はある。 ・児童が上手く仲良くなれるか少し不安な面がある。学校同士で固まったりしないか(特に上学年)。 ・人数が増えることによって、先生方が生徒の様子を見るのになかなか難しいのではないかと思います。でも色々な子と接して揉まれて、たくましい子になるには、少人数よりも色々な経験が出来ると思います。 ・小規模校から大規模校に来る子の心配。多人数集団にスッと入っていけるように、交流をたくさん行う必要がある。 ・1クラスあたりの人数が多くなり、学力面での配慮が必要になる。 ・多人数になると人任せになってしまうか、集団としてのまとまりが難しくなる。 ・地域が広がり、子ども達の安全面について目が届きにくい。 ・生徒が慣れるまでの時間がかかる。 ・初めて出会う子ども達の心のケア(特に小規模から大規模) |
| 地域の 衰退化 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の規模が大きくなり、教員が児童一人一人を深く把握することが難しくなり、問題行動が増えたり地域への愛着が薄くならないかが心配。 ・地域は、今まで学校との関わり出来た声が多いように思う。 |
| 計画の スピード | <ul style="list-style-type: none"> ・単に間に合うかどうか。 ・反対している地域があれば、計画とおりにならなくなる。説得しても難しいのではないか。 ・初めて参加し、統合に向けて活動するしかないのでは。スピード感を持って行う必要がある。メリット、デメリットを考えてもしかたがない。 |
| 財政面 | <ul style="list-style-type: none"> ・地震の影響でどうかと思っている。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス等(安全面)安心して登下校出来るようにしてほしい。 ・校区の広がり→遠くに住む子は、どれほど学校に愛着がわくだろうか。 ・知らない人が多い(関心がない)。 |

④解決する手がかりについて

| | |
|---|-----------------------|
| ・教職員の確保(学力・生活面を見取る)をすること。 | ・教員の増員。 |
| ・各公民館レベルにも館長を通じて説明する。 | ・保護者、住民が協力する。 |
| ・より地域の方の目が不可欠となる(児童の安全)。 | ・話し合いしかない。 |
| ・先進校をみる目。 | ・地域と学校とがもっと関わること。 |
| ・小鴨小と上小鴨小で交流出来る機会をつくるべき。 | ・話し合いで多くの住民に理解をしてもらう。 |
| ・小鴨公民館を中心に活動していくこと。 | ・スピード感のある推進を図る。 |
| ・全ての点について細やかな気配りの目線が重要となる。 | |
| ・地域で子どもを支えるという小鴨地区の良さを活かす(地域ボランティア)こと。 | |
| ・統合ありきではなく何が問題なのかを出してから話し合いをした方がいいのではないか。地域の活性化とは切り離すべきだ。 | |
| ・小鴨、上小鴨の子ども同士の交流を丁寧に行っていく。楽しみだな、わくわくするなあという思いにさせたい。 | |

⑤小学校適正配置協議会で話し合うべき内容

| | |
|--|---------------------------|
| ・子どもの安全面。 | ・教職員の配置。 |
| ・児童のことをまずは考えなければいけない。 | ・関金小が統合してどうなったか。 |
| ・何が課題なのか明確にしておく。 | ・集団生活→社会性に |
| ・子どもを大切に考えを進めていくこと。 | ・上小鴨の現状について統合のメリット、デメリット。 |
| ・学校がなくなる地域のために振興策を作成するべき。 | ・早く進める。 |
| ・ただ反対するのではなく10年、20年先の事で話し合うべき | ・学力、心の保障(ハード面・ソフト面) |
| ・小鴨地区は特別に問題がないので上小鴨地区の人達と重点的に話し合ってもらいたい | |
| ・子どもの推移数を正確に確認する。この課題を論理的にまとめる。住民へは分かり易い言葉、数値でもって説明出来る資料を作成する。 | |
| ・財政面だけでなく地域の特性、独自性が残るようなことも考慮すべきだと思う。 | |
| ・学校の無くなった地域のスクールバスの時間について。 | |